



国際アクチュアリー会 (IAA) 死亡率ワーキンググループ アップデート#4 ロンドン, イングランド, 2014

死亡率ワーキンググループ(MWG)は IAA の委員会・ワーキンググループの 5 日間の会議の一部として、年 2 回会議を行っています。2014 年の第 2 回会議は、2014 年 9 月にイングランドのロンドンで開催されました。本書はそこでの議論の内容をまとめたものになります。

MWG の存在意義は、死亡率を研究すること、世界中のその他の機関により実施された調査をモニターすること、世界中のアクチュアリーやその他の方々に対してこの情報を提供すること、そして、必要に応じて他のコミュニケーションの場を作り、貢献することにあります。

今回の会議のトピックスは以下のとおり:

- 日本、オランダ、イギリスおよびアメリカからの報告 (Country reports)。これらの報告は様々な国における事業活動に関連する最近の死亡率についてまとめたものです。

- 日本は新しい生命表として、「標準生命表 2007」を採用しています。
- オランダで使用されている死亡率推計方法が報告されました。これは相対的に人口が少ない国でどのような手法をとりうるかの、1つの例となります。
- イギリスから、レポートが提出されました。そのトピックスには、死因別死亡率(認知症やアルツハイマーが突出して多い)、社会経済地位による寿命の差異、死亡率改善に関する様々な見解といったものがありました。

(訳者注) 日本とは死因の捉え方が異なるものと思われる。

また、継続的死亡率調査(CMI)からいくつか資料が公表されたことが言及されました。これには、次のものが含まれています。Mortality Projections version 1.5 の最新版、2007-2010 年のデータに基づく重度疾病(CI)の調査結果、1991-2009 年のデータに基づく疾病要因別の個人収入保障の経験値、自己管理型年金スキームにおける経験死亡率調査。

- アメリカの 2 つの新生命表が意見募集に公開されました。無保険者の私的退職市場に対しては、「RP-2014 生命表」および付随する「MP-2014 死亡率改善スケール」、個人保険市場に対しては、「2014VBT 表」が意見募集に付されました。また、個人年金開始後の経験率調査が公表されました。選択期間の死亡率前提の基礎となる特徴についての研究結果も公表されました。北米アクチュアリージャーナル(SOA 発行)の 2014 年 1 号では、長寿リスクおよびキャピタルマーケットに焦点をあてた数多くの記事が掲載されています。
- MWG に対し、2 つのプレゼンテーションがありました。1 つ目は Peter Banthorpe 氏 (イギリス死亡率調査運営委員会 議長)による“Projecting Mortality by Cause of Death”。2 つ目は Tim Gordon 氏 (CMI 議長)により現在進行中の“Mortality Improvement work by CMI”です。Tim は国際的に知識とデータを共有化しようとしていました。これにより、すべての領域において、より良いプロジェクションが可能となるでしょう。MWG はこれを支援することに合意しました。MWG 議長の Paul Lewis 氏が重要な論点をまとめることとなっています。

- 最近のフィンランドの死亡率調査に関するプレゼンテーション
- 36 か国の死亡率コーホートの比較研究
(訳者注)Dov Raphael 氏のコーホート効果のプレゼンテーションのことで、英文の「36 か国」は「18 か国・男女の 36 データ」の誤りと思われる。
- Al Klein 氏が長寿戦略タスクフォースを立ち上げるために SOA のイニシアティブについて言及しました。その目的は、長寿の影響についてアクチュアリーおよびその他の人々に学んでもらうことです。彼らは提携の可能性も模索しています。
- MWG は、世界中の死亡率や長寿に関心を持つアクチュアリーやその他の人々にとって、**Information Base** (www.actuaries.org/mortalityinfo)をよりアクセスしやすく、より有益なものとするために、その目的に沿っていかに発展させていくかを議論しました。まず率先して、5 か国語でアクチュアリー関連団体に死亡率アップデートを広げることになりました。そしてさらに、ロンドン会議の(この)アップデートについて、ボランティアが言語数を増加させようとしています。
- Dov Raphael 氏より、死亡率推計やそのパラメータ化に関するコーホート効果の国際比較の研究について、プレゼンテーションがありました。

以上がロンドンにおける MWG の議論の概要です。この会議(および以前の会議)の議事録、プレゼンテーションおよび資料が以下から(登録不要で)入手可能です。

www.actuaries.org/mortalityupdates

返答および提案

IAA 死亡率ワーキンググループは、我々の研究に関する皆さんのインプットや提案を喜んで受け付けています。MWG 宛、iaamwg@actuaries.org にどんなコメントでも送付してください。